

未来を拓く～学校図書館がめざすこと～

札幌市学校図書館協議会 研究部長 志村 知子

(札幌市立手稲宮丘小学校教諭)

1 SLAについて

今日、学校図書館は様々な資料・情報の活用を通して子どもたちの「自ら学ぶ力」をはぐくむ活動の拠点（学習・情報センター機能）、読書を通して子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ活動の拠点（読書センター機能）として、その役割が大いに期待されています。

公益社団法人全国学校図書館協議会（Japan School Library Association 略称＝全国 SLA）の前身である全国学校図書館協議会は、1950年2月、「学校図書館が民主的な思考と、自主的な意思と、高度な文化とを創造するため教育活動において重要な役割と任務をもっている」（創立時の宣言）との思いで全国の有志教員によって結成されました。任意団体として活動してきた全国学校図書館協議会を発展的に改組し、その目的、事業を引き継いで1998年9月に社団法人全国学校図書館協議会が設立、2012年4月1日に公益社団法人に移行しました。全国 SLA では、各都道府県の学校図書館研究団体（各県 SLA、61 団体）と協力して、学校図書館の充実発展と青少年読書の振興を図るために様々な活動を行っています。学校図書館の整備充実を図る運動（職員配置、予算増額、施設拡充など）、学校図書館向け資料の選定と普及、学校図書館活用や読書推進に関する調査研究、学校図書館の研究および学校図書館職員の資質向上を図る各種の研修、青少年の読書の振興と普及を図る各種コンクール、顕彰活動等を行っています。（全国学校図書館協議会ホームページより）

北海道学校図書館協会は、昭和24年10月に設立されました。学校図書館の充実、発展を図り、教育の振興に努めることを目的に、その達成のため次の事業を行っています。

- 1、学校図書館の運営、読書指導、利用指導の研究、普及に関すること。
- 2、学校図書館に関する研究会、講習会などの開催に関すること。
- 3、優良図書の選定、推薦、普及に関すること。
- 4、図書館用品、備品の研究、普及に関すること。
- 5、図書以外の図書館資料の研究に関すること。

6、機関紙、研究物、図書の発行に関すること。

7、各学校図書館相互の連絡及び地域社会の読書推進に関すること。

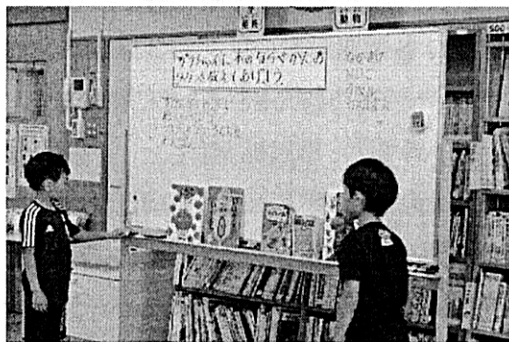
8、その他必要な事業に関すること。 (北海道学校図書館協会ホームページより)

札幌市学校図書館協議会は札幌の学校図書館の様々な活動を支える団体です。創立64年の歴史があり、札幌市立の全幼稚園・小・中学校・高等学校並びに中等教育学校、本会の趣旨に賛同する札幌及び近郊の幼稚園・学校を会員として構成されています。(札幌市学校図書館協議会ホームページより)

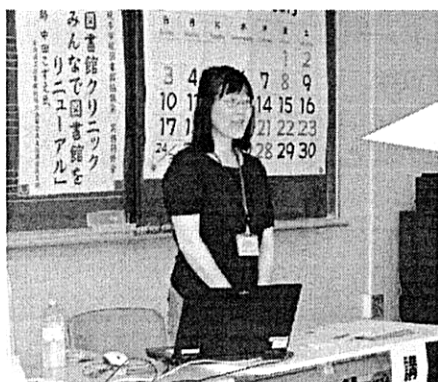
2 札幌市学校図書館協議会の活動について

昨年度は、北海道学校図書館研究大会札幌大会に向けて授業公開、全国学校図書館協議会のスーパーバイザーや北海道学校図書館協会研究部長を迎えて「学校図書館での授業」についての講演を中心に研修を行いました。また、司書教諭・学校図書館司書・図書担当者のための実務研修として「図書館クリニック」を行いました。全道SLAと協力して優良図書の選定、読書感想文コンクールの開催、機関紙「洛書」の発行などの活動も行っています。

第3回実務研修会 授業公開 学び方の指導 小学校2年 国語「本の分け方、ならべ方」



第4回実務研修会 図書館クリニック



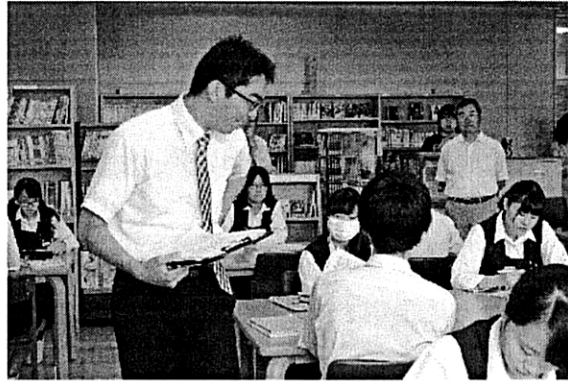
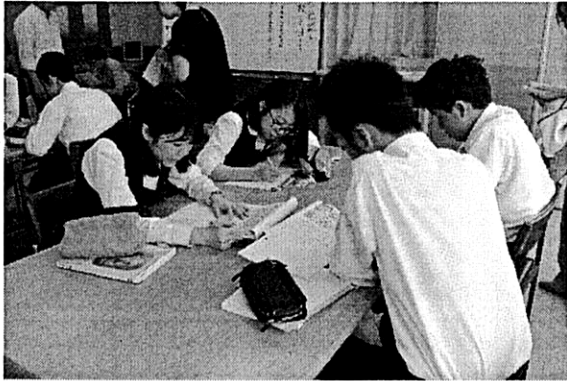
北海道立図書館総務企画部企画支援課

企画主幹 中田 ござえ氏による講演

“子どもが集まる”学校図書館の環境づくりを！



第5回実務研修会 授業公開 資料の活用 中学校3年 国語「新聞の社説を比較して読もう」



第6回実務研修会 保育公開 読書指導 異学年クラス 絵本遊び「バナナじけんの世界で遊ぼう」

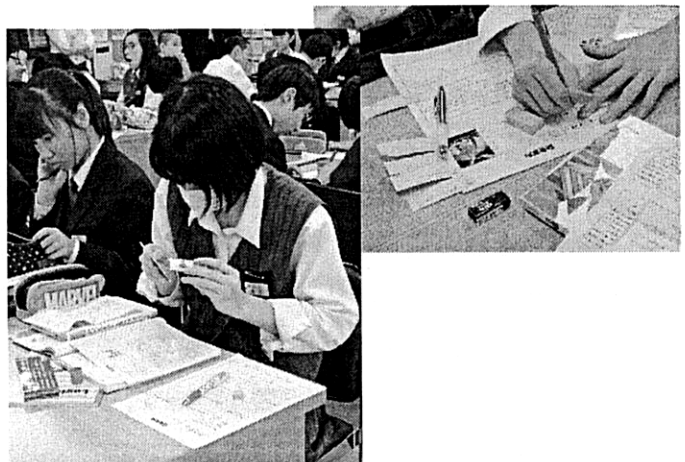


第40回札幌市学校図書館協議会研究大会

公開授業 中学校2年 読書指導 国語「読書に親しむ」～読書ノートを始めよう～



中学校に配置された学校図書館司書と協力して授業作りを行いました。



全国学校図書館協議会スーパーバイザー

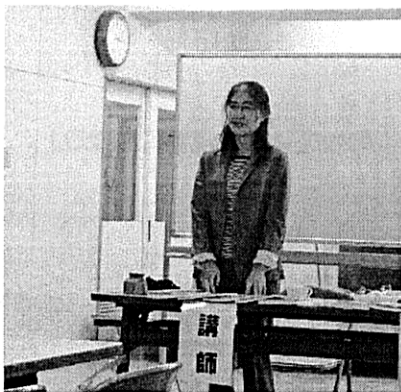
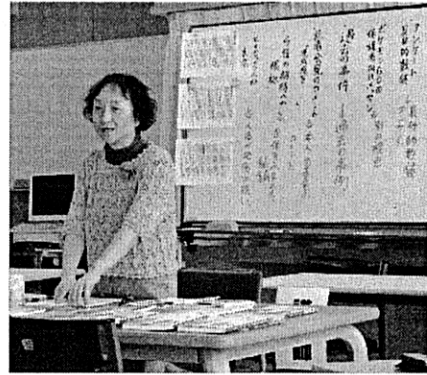
佐藤敬子氏による講演

5/19、7/4

「学校図書館の授業とは？～学校図書館で豊かな学びを～」

9/12

『学校図書館の授業とはⅢ？～「学び方の指導」第一歩～』



北海道学校図書館協会 研究部長

山田 佳子氏による講演

10/3 「学校図書館と読書指導」

3 北海道学校図書館研究大会札幌大会について

研究主題を『未来を拓く力を育む学校図書館～学ぶ楽しさ つながる世界～』とし、9つの授業を公開します。また、札幌市と全道各地の学校から提言がなされる分科会、学校図書館に関わる様々な参加者に幅広く学んでもらえる機会となるようにセッションを企画しました。

激しい変化に予測が難しい未来を生きる子どもたちにとって、「生きる力」（予想外の事態に対応し得る汎用的能力）を育むことが必要とされます。現行の学習指導要領では、このような社会に対応するために、子どもたちがこれまで学んできた知識や技能を活用して、自ら考え、判断し、表現する力が「生きる力」につながるといふ理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力、判断力、表現力などの育成を重視しています。更に、次期学習指導要領では、「何を学ぶか」という知識の質・量の改善に加え、「どのように学ぶか」という学びの質を重視しています。社会とのつながりを意識した「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」を実現し、子どもたちが社会の激しい変化の中でも何が重要か判断でき、多様な人々と協働して問題を解決し、新たな価値を創造していく力を育んでいく必要があります。子どもたちの学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化してい

くための視点として「アクティブラーニング」が提示されていますが、その実現には、学習センター・情報センターとしての「学校図書館」が効力を発します。探究的な学びの基本となる調べ、読み取り、考え、表現する力や技を育てる中核となりうるのが学校図書館なのです。

また、新しい時代に必要となる資質能力に「学びに向かう力・人間性等」があげられています。読書活動は豊かな感性を養い、思考を深め、豊かな心と創造力を育てていくと考えられており、学校図書館がもつ「読書センター」としての機能が、より重視されると考えられます。読書を通して豊かな情操を育み、調和のとれた人間へと成長し、社会や他者とつながって未来をたくましく生き抜く力を身に付けるために、学校図書館の充実発展は不可欠なのです。

これからの学校図書館では、「読書センター」としての機能を充実させるとともに、「学習センター」・「情報センター」として、学び方の指導を通して探究的な学習を支え、「生きる力」を育む教育課程に寄与しなければなりません。このような研究と実践を通して、子どもたちが様々な世界とつながりながら学ぶ楽しさを味わってほしいと考えます。未来を担う子どもたちが自らの手で学び取ったことを生かし、人、物、地域などにつながる「生きる力」を育み、読書を通して一人一人の子ども豊かな心を培う学校図書館の役割を大切にしたいと考えました。

本大会 1 日目では、幼稚園・小・中学校・高等学校の授業を公開します。それぞれの発達段階やつながりを見ることができます。幼稚園と小学校の読書指導の授業は、昨年 1 月に白石区にできた「えほん図書館」で行います。幼小の交流場面も授業の中に組み込まれます。あやめ野小学校では、学び方の指導、資料の活用に加え、特別支援学級の読書指導の授業を公開します。中学校の授業公開は、啓明中学校で学び方の指導、資料の活用を、中高一貫校として設立された市立開成中等教育校では読書指導を行います。高等学校は、私立開成中等教育校で公開授業を行います。札幌市の特色でもある寄託図書館制度や公共図書館との連携などを生かしながら授業を展開させていきます。

授業公開後の分科会 1 では、9 つの授業についての交流を行います。昼食をはさんで、午後からの分科会 2 では、種別「管理・運営」を加えて 10 の分科会で、札幌市や全道での取組が提言されます。

2 日目は、絵本作家の tupera tupera の亀山達也氏を迎えてのワークショップ、絵本児童文学研究センター理事長 工藤佐千夫さんによる講座、札幌いちご会の代表 小山内美智子さんによる講和「私と本との出会い」など 7 つのセッションと亀山達也氏による記念講演を行います。

子どもたちにとって学校図書館が魅力的な場であってほしい、学校図書館での学びが子どもたちの未来を明るく照らすものであってほしいという私たちの思いが詰まった札幌大会です。ぜひいらしてください！